

令和7年9月4日
都市未来拠点・新幹線新駅対策特別委員会
町長室 特命担当
(北部地区土地利用戦略プロジェクト)



北部地区土地利用戦略プロジェクトに係る 進捗状況の報告について

2025年9月4日



寒川町

町長室 特命担当
(北部土地利用戦略プロジェクト)

1 北部地区土地利用戦略プロジェクトの概要について

2 3D都市モデル及び人流等ビッグデータの整備検討について

1 北部地区土地利用戦略プロジェクトの概要について

プロジェクトの概要

1. プロジェクトの名称

北部地区土地利用戦略プロジェクト（町長室特命担当）

2. プロジェクトの体制

次の関係課等の課長及び職員に特命担当の兼務辞令を発令してプロジェクトを推進していく。

関係課	都市計画課	農政課	都市整備課	産業振興課	資産経営課	企画政策課
分野	都市マス 国県調整	農業振興 農振農用地域	インフラ整備	企業立地 税優遇	財政シミュレーション 公共施設再編	広域連携

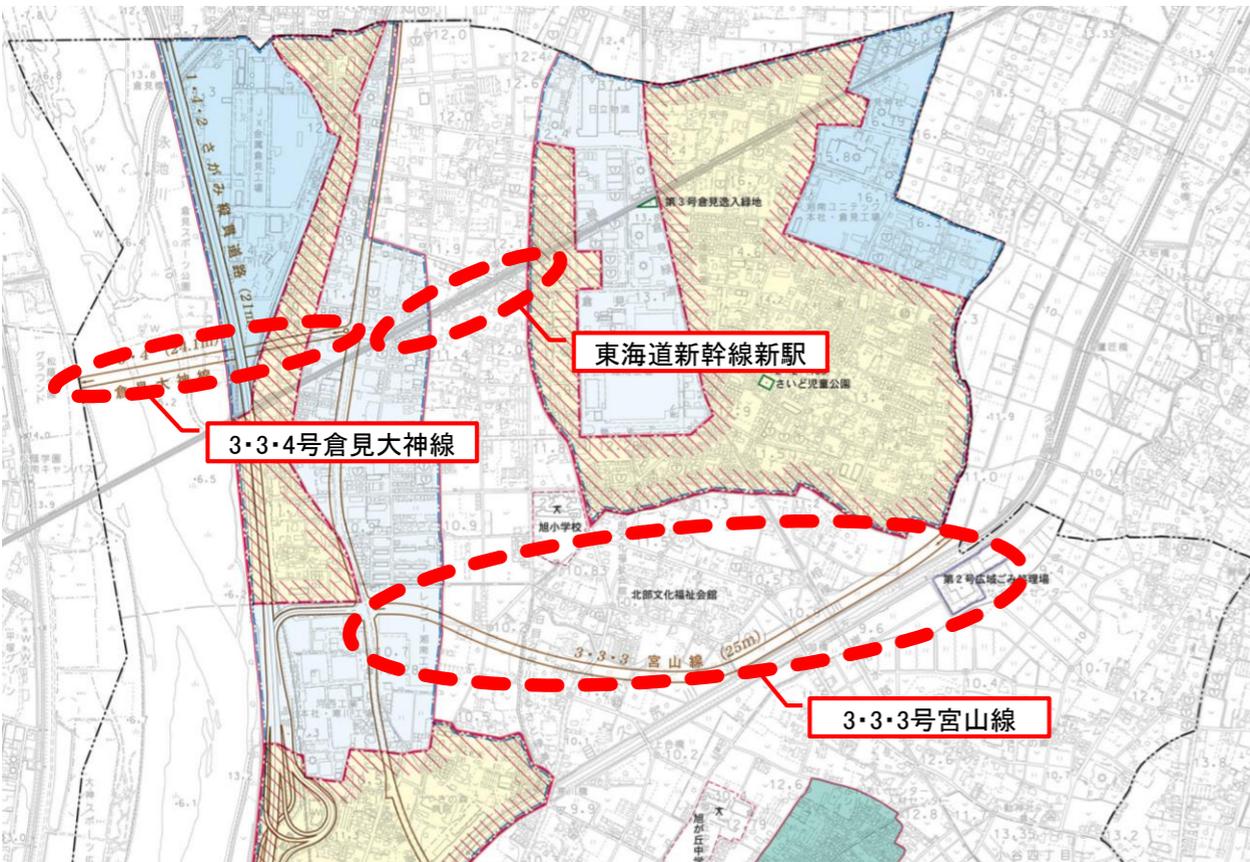
本務の特命担当は、特命事項の調整を行う。倉見拠点づくり担当についても連携する。若干名の公募職員を編成する。

1 北部地区土地利用戦略プロジェクトの概要について

プロジェクトの検討概要

【今後予想される大規模な土地利用転換等】

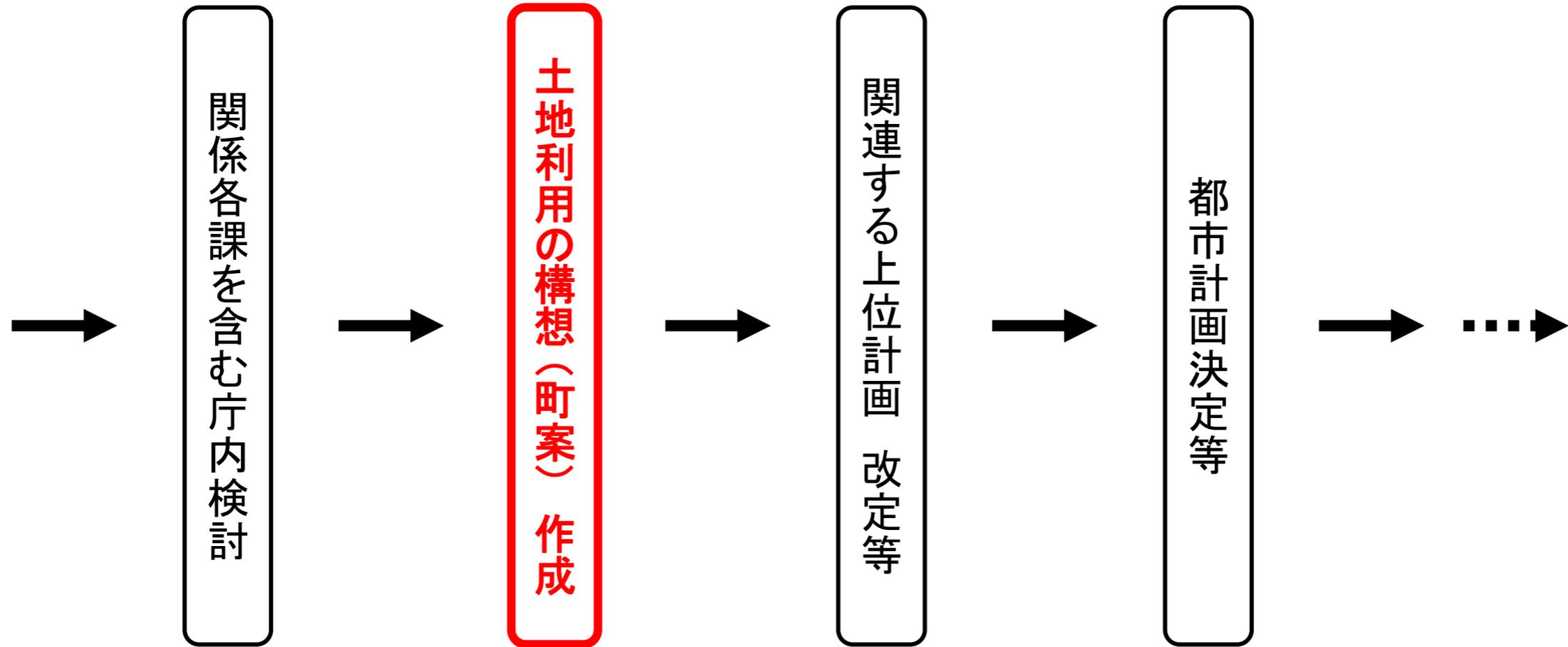
- ・ 3・3・3号 宮山線の整備
- ・ 3・3・4号 倉見大神線の整備
- ・ 東海道新幹線新駅の誘致



北部地区全体の土地利用検討を目的にプロジェクトチームが創設

1 北部地区土地利用戦略プロジェクトの概要について

プロジェクトに係る全体フロー（案）



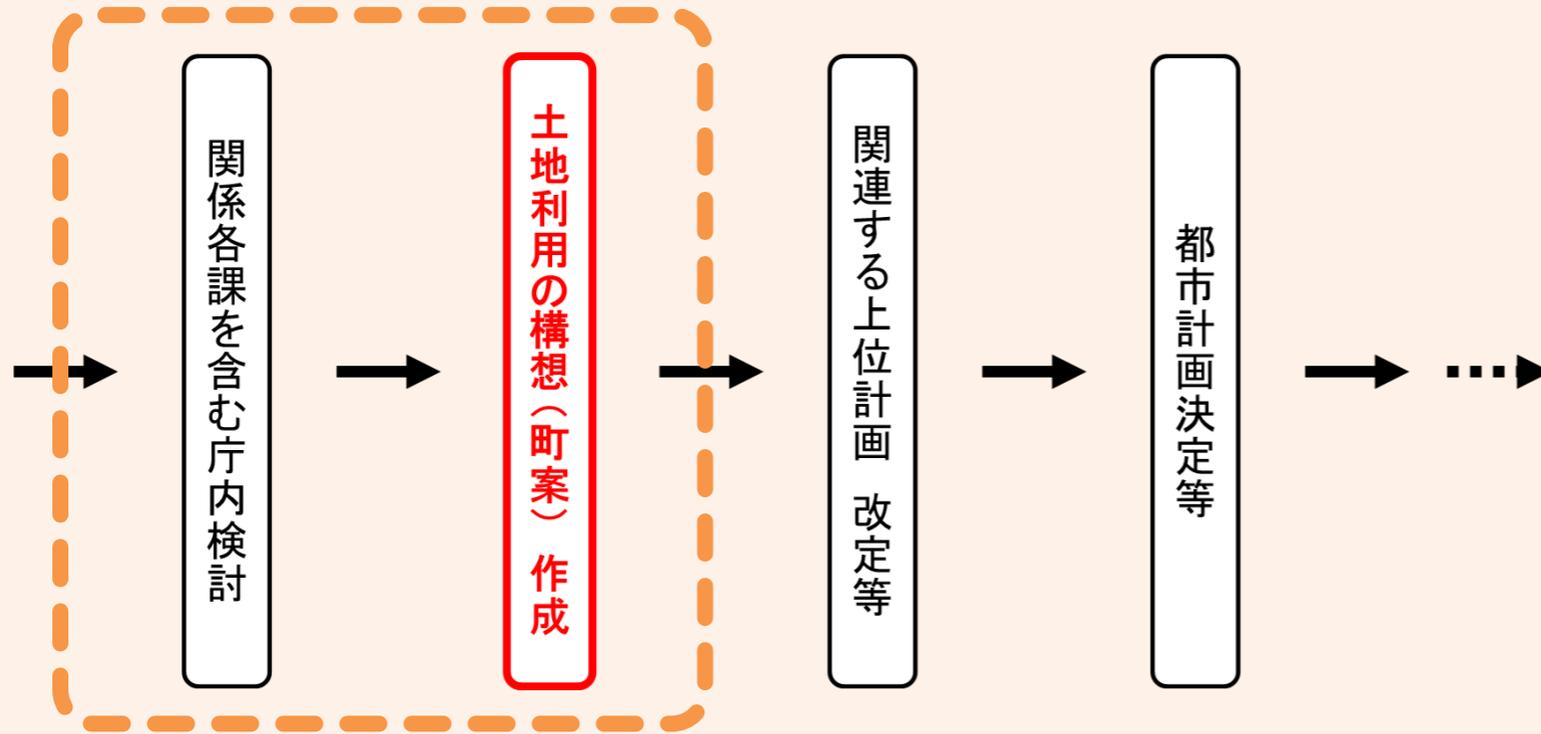
※今後の検討状況に応じて変更する可能性があります。

1 北部地区土地利用戦略プロジェクトの概要について

2 3D都市モデル及び人流等ビッグデータの整備検討について

2 3D都市モデル及び人流等ビッグデータの整備検討について

整備を検討しているデータの種類



※R8年度データ整備を想定

本プロジェクトを推進するため、根拠資料(3D、人流等)の整備が必須である！

2 3D都市モデル及び人流等ビッグデータの整備検討について

整備を検討しているデータの種類

3D都市モデル

※町内全域



都市を3次元で可視化
(個別地区においてVR等の作成を検討)



庁内、地権者等との円滑な合意形成
(具体的なイメージ共有が可能に！)

ビッグデータ
(人流、車両)

※北部地区に限定



スポットごとのデータを取得、分析
(今回は北部地区をメインにデータ取得を検討)

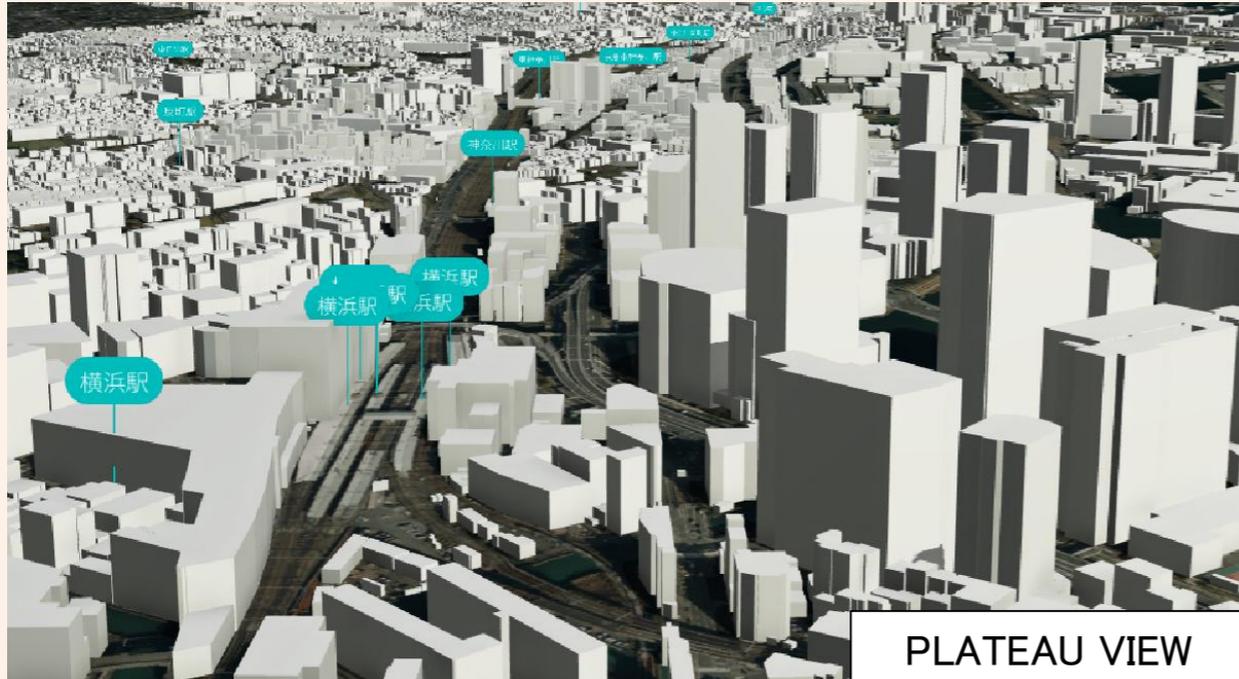


EBPMによるまちづくり検討
(根拠に基づく政策立案で合意形成が円滑に！)

2 3D都市モデル及び人流等ビッグデータの整備検討について

3D都市モデルの概要

都市空間を再現する3D都市空間情報プラットフォーム



建物や街路などに名称や用途などの情報を付与



様々なデータが3D都市モデルに統合され、
フィジカル空間とサイバー空間の高度な融合が実現

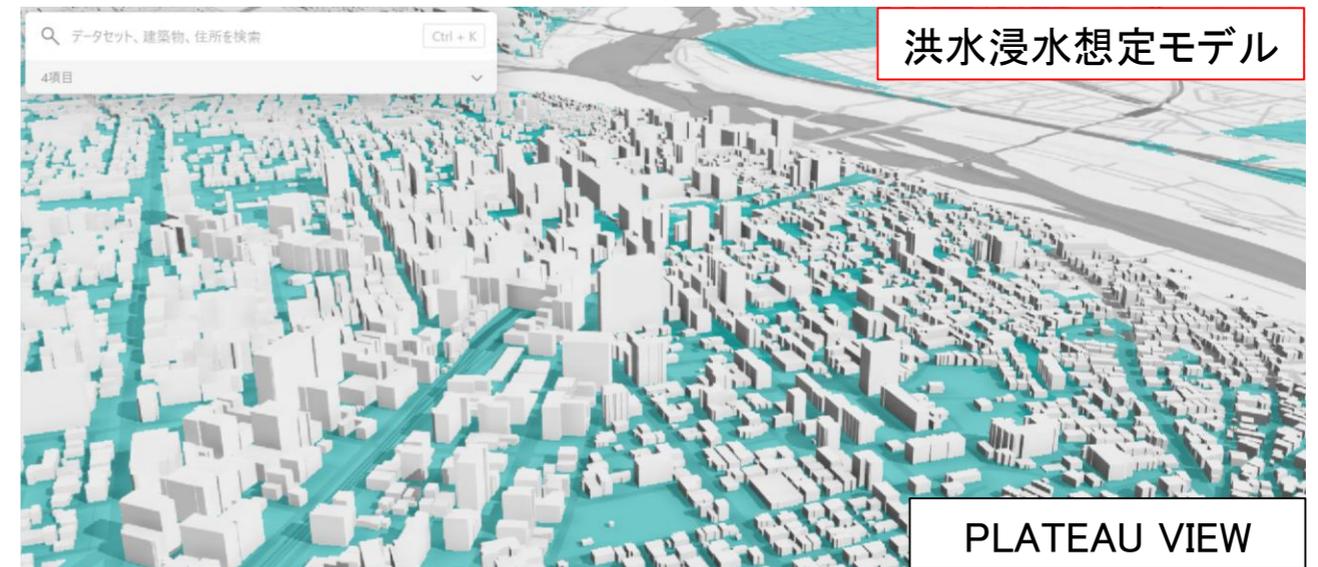
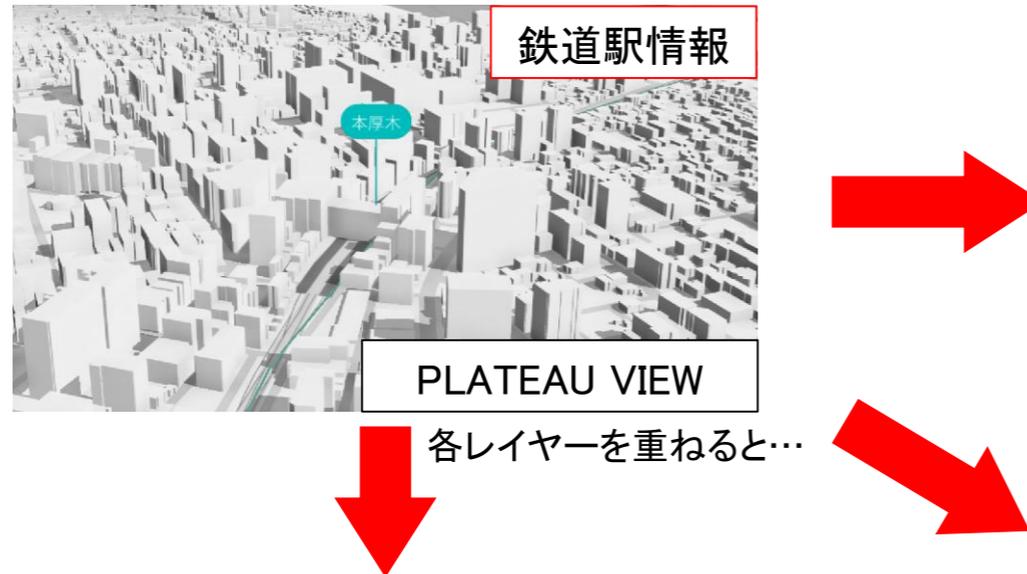


都市計画立案の高度化や、
都市活動のシミュレーション、分析等が可能となる

2 3D都市モデル及び人流等ビッグデータの整備検討について

3D都市モデルのデータイメージ

※神奈川県厚木市モデルを参照



2 3D都市モデル及び人流等ビッグデータの整備検討について

(参考) 「Project PLATEAU(プラトー)」 国土交通省都市局

「Project PLATEAU」とは

2020年度にスタートした国土交通省のプロジェクト
(3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化プロジェクト)

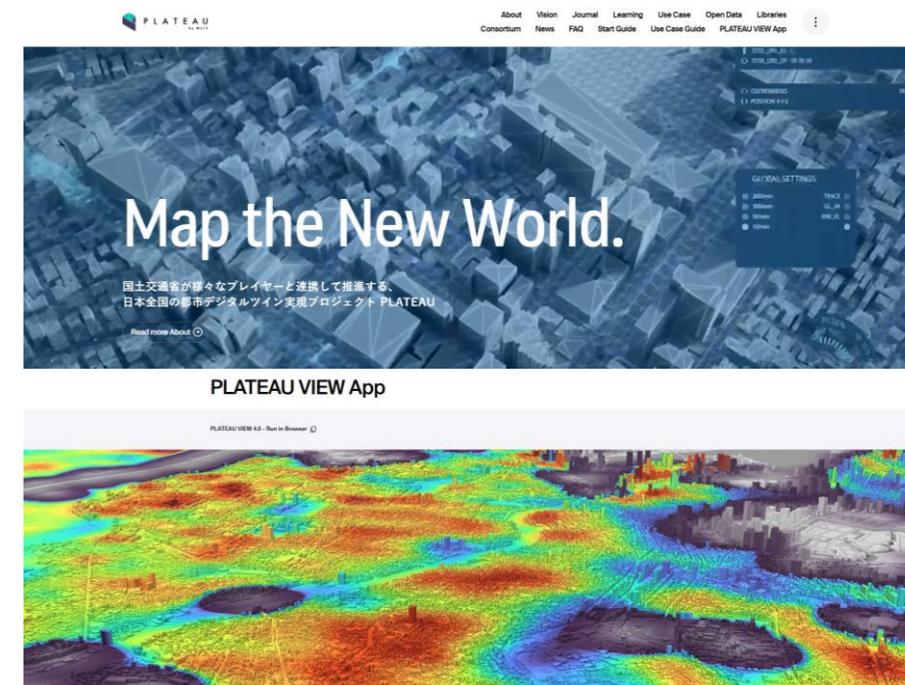
「3D都市モデル整備都市」について

令和6年度末:250都市、令和7年度末:**300都市**(予定)

「補助制度」について

都市空間情報デジタル基盤構築支援事業

(全国の地方公共団体における3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化推進のため令和4年度より創設)
(令和7年度は54団体が採択されている)



※国土交通省HPより

2 3D都市モデル及び人流等ビッグデータの整備検討について

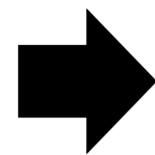
人流データと車両データの概要

人流データ:人がいつ、どこで、何人いるのかなどを把握できる

→ 町内の人の動き、観光客等の人の動き等

車両データ:出発地点と目的地、道路の混雑状況、危険個所などを把握できる

→ 町内の車の動き、町外からの車の流入等



まちづくり、観光、交通、防災など様々な分野で
EBPMとしてデータの活用を検討したい

2 3D都市モデル及び人流等ビッグデータの整備検討について

人流計測等に伴うデータの種類等

GPSデータ: 経路単位で移動状況の把握

→ 民間事業者等のデータ調達を想定

AIカメラ・センサ: 一定範囲を通過する人や滞留する人を、自動で連続的・長期間把握

→ 行政が民間に委託しデータ計測を想定

携帯基地局データ: メッシュ単位での移動量や滞留状況等の把握

→ 民間事業者等のデータ調達を想定

※データ活用の目標が定まっていないと無駄になる可能性が高い

➡ 目的に応じたデータの取得方法を検討する必要がある

2 3D都市モデル及び人流等ビッグデータの整備検討について

車両計測等に伴うデータの種類等

車両走行データ: センサー等により自動でエンジンやトランスミッションのデータを取得
→ 民間事業者等のデータ調達を想定

車両ODデータ: GPSなどを活用し、車両の**起点**(Origin)と**終点**(Desti)のデータを取得
→ 民間事業者等のデータ調達を想定

※データ活用の目標が定まっていないと無駄になる可能性が高い

➡ 目的に応じたデータの取得方法を検討する必要がある

2 3D都市モデル及び人流等ビッグデータの整備検討について

データの活用イメージ ①

※3D

- ・ 高さ制限の検討
- ・ 高度、高密度利用の検討

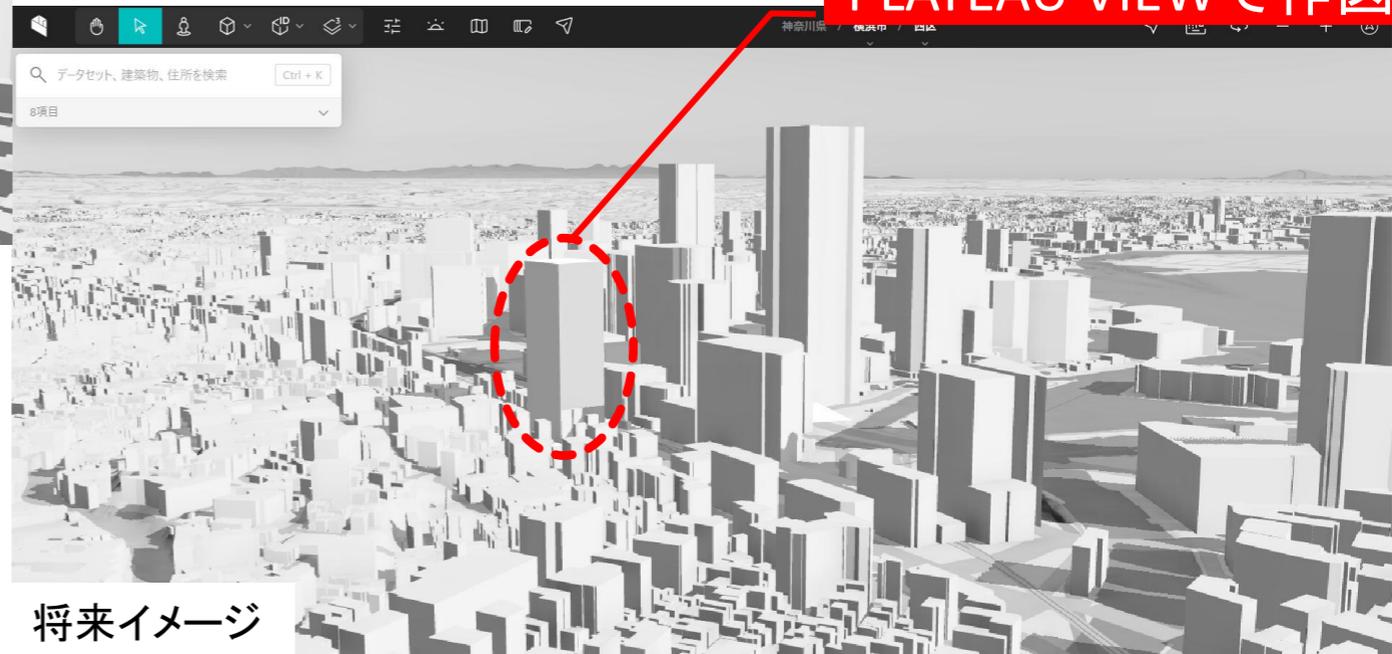
など



現況

※「PLATEAU View(国土交通省)」より

※横浜市



将来イメージ

PLATEAU VIEWで作図

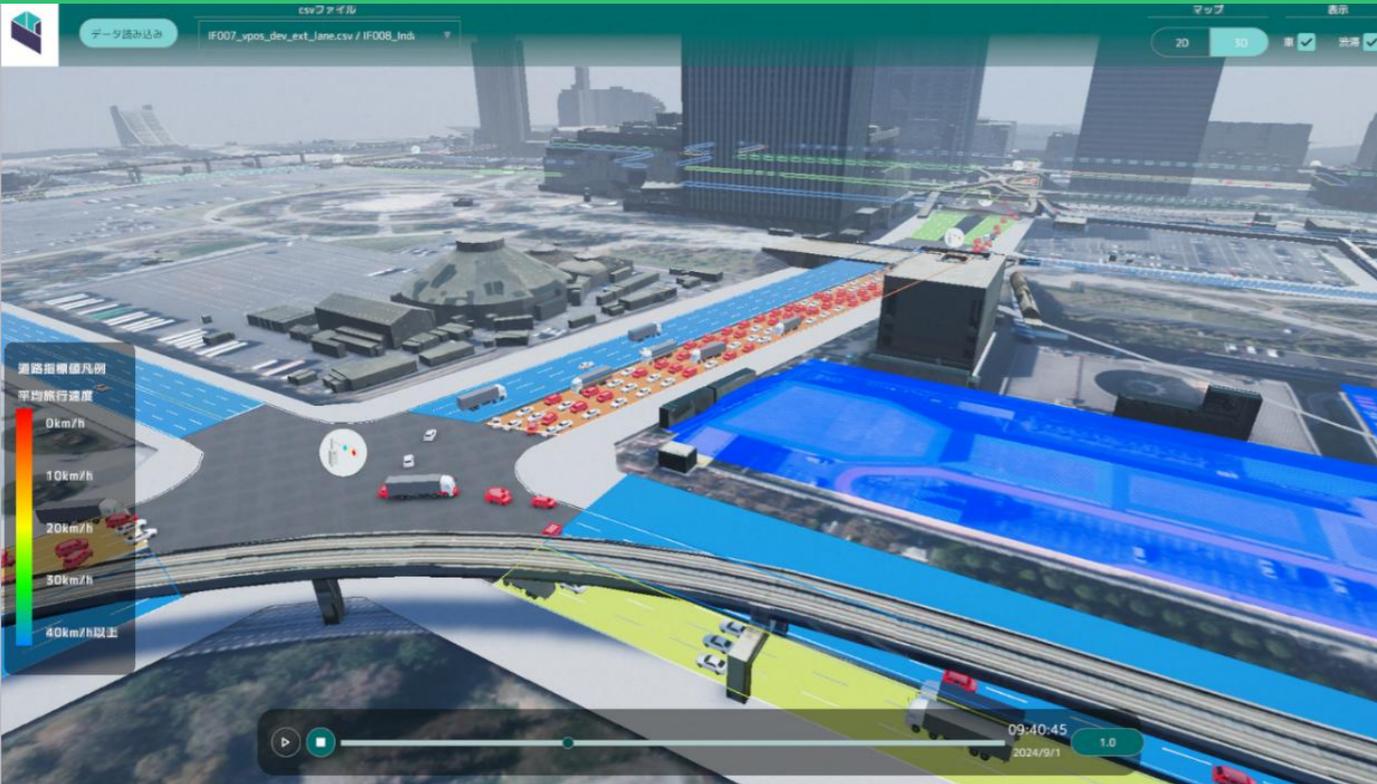
2 3D都市モデル及び人流等ビッグデータの整備検討について

データの活用イメージ ②

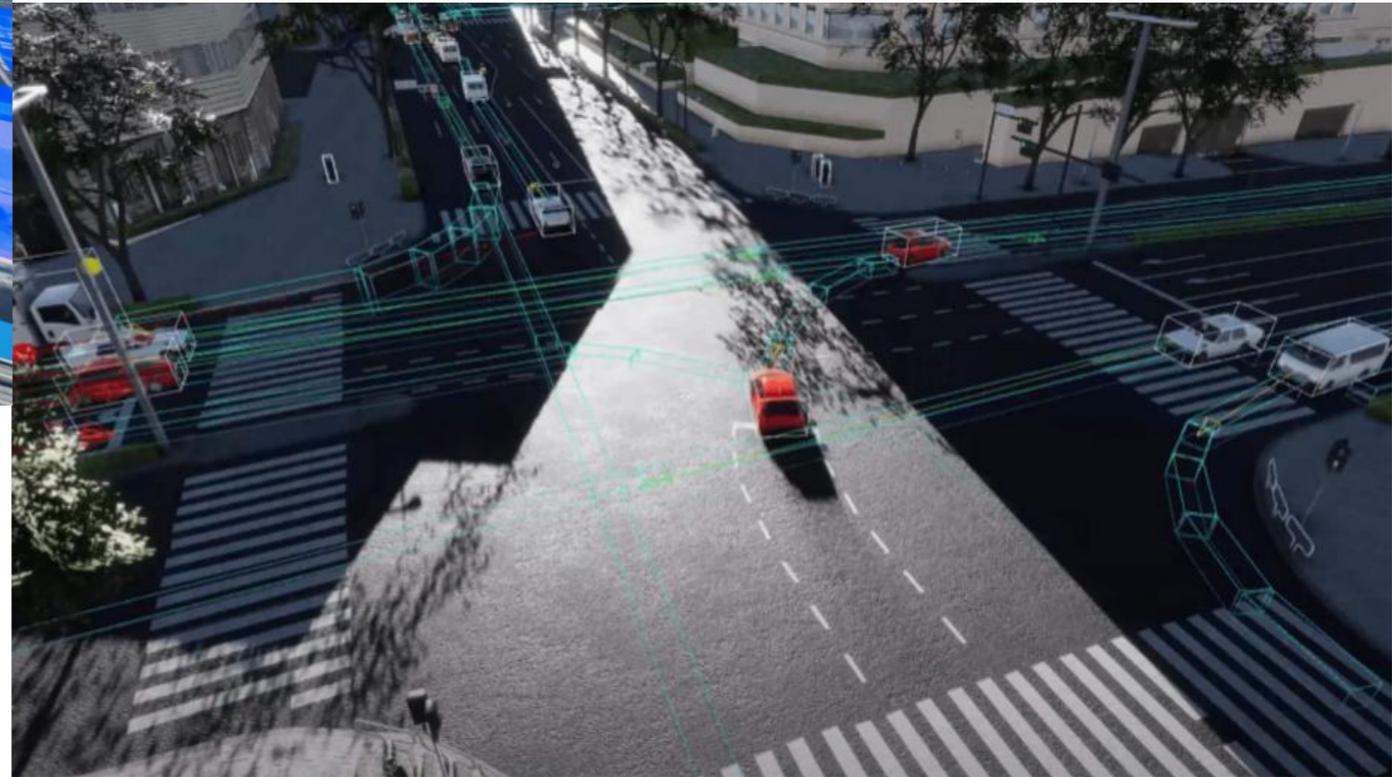
※3D

- ・ 道路整備イメージを共有
- ・ 想定交通量の可視化

など



※PLATEAU(国土交通省)HPより



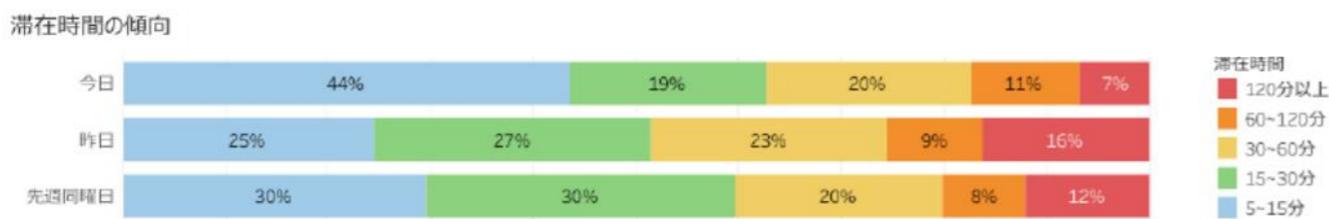
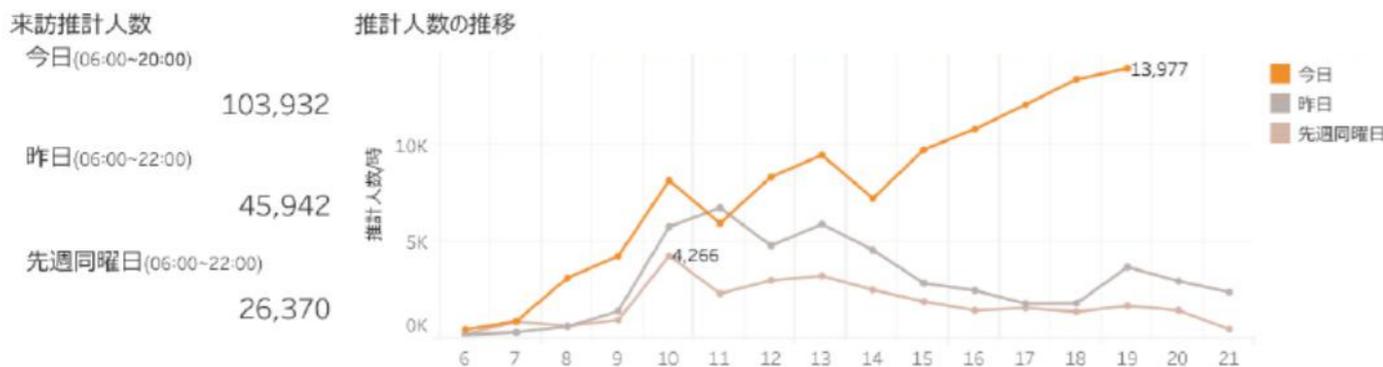
2 3 D都市モデル及び人流等ビッグデータの整備検討について

データの活用イメージ ③

※人流

- ・ エリア滞在時間の可視化
- ・ 移動元分析

など



※来訪者数の増減を前日等と比較、滞在時間傾向の違いを可視化

※G空間情報センターHPより

県内類似地区のデータなどを参考に、
北部地区の検討に関連する分析をしたい

※根拠に基づく政策立案

活用事例のご紹介 特異日における観光施設の属性別来場者分析

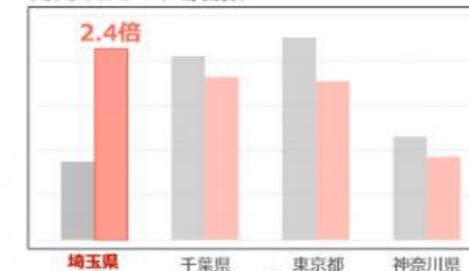
※移動元分析

全国うごき統計

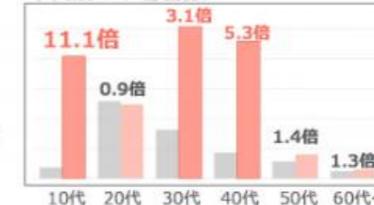
休校日の「埼玉県民の日」は、埼玉県から千葉県のテーマパークへの来場者数が**2.4倍**に増加
さらに埼玉県からの年代別来場者数をみると、10代の来場者が**11.1倍**に激増



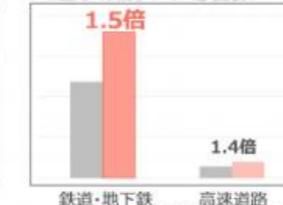
南関東からの来場者数



年代別の来場者数



交通手段別の来場者数



【凡例】
■ 2019/11/7 (木)
■ 2019/11/14 (木) 埼玉県民の日

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

2 3 D都市モデル及び人流等ビッグデータの整備検討について

業務委託全体フロー（案）

